

開設、あるいは車両基地に予定されている高さ10メートルの囲い壁を活用し、出土した埋蔵文化財の時代をほつつかさせる大壁画やレリーフの設置はどうか。

A 県の新幹線文化財調査事務所による発掘調査においては、古墳などが見つかったほか、石器等が多数出土し、コンテナにして数千箱に及んでいる。また、地元での保存・展示については、将来的には県から譲り受ける方向で調整しており、保管場所を確保しながら、県立・市立一体型図書館に併設する歴史資料館で、その一部を見ることができるよう検討する。また、大壁画の設置については、新幹線関係機関との協議を進めていきたい。

小中学校にエアコンを！

城 幸太郎 議員

Q 地球温暖化により真夏日、猛暑日が増加している。大村市においては、今年、猛暑日6日、真夏日41日を記録し、県下で一番暑いまちであった。この猛暑の中、学校のエアコンについては、校長

室と職員室には設置されているが、大人と比べて体力的に弱い子どもたちの学習の場である教室に設置されていないのはなぜなのか。文部科学省も「夏季において、最も学習に望ましいのは25～28度である」としている。エアコンの設置を検討すべきと考えるがどうか。

A 各学校から毎年出される改修等の要望に対しては、エアコンの設置も含め、優先度をもとに判断しており、学習環境の改善を図ることは非常に重要だと認識している。また、教育委員会としては、小中学校全ての普通教室にエアコンを設置するには多額の費用がかかるため、まず扇風機の設置を検討しながら、エアコンの設置についても財源や手法等を研究したい。

大村を「食育の都」に

村崎 浩史 議員

Q 市長は、中学校給食センターに農村レストランを併設することをマニフェストに掲げているが、併設する意義と、それを見直す余地について尋ねる。また、施設を複合化するならば、「食育」に

特化した研修・教育施設を設置してはどうか。空港からのアクセスもよく、大村は食育の都という新たな顔につながると思われるが、市長の考えを尋ねる。

A 中学校給食センターを複合化する意義については、施設コストの削減効果や交付金等の優位な制度の活用の可能性を高めることにある。複合化については、アイデアとして示しているもので、中学校給食については、子育て支援と教育という2つの視点が重要だと思っているが、最速最短期の実施が優先順位の第一番である。中学校給食センターを食育に特化した複合施設にすることについては、早速協議し、前向きに研究したい。

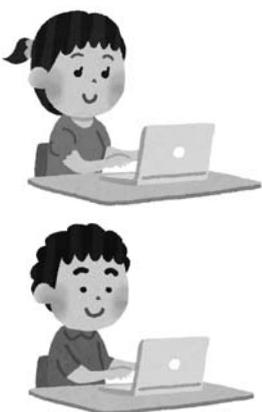
スクールセクハラと土曜授業の実施について

朝長 英美 議員

Q 全国的にスクールセクハラが社会問題化しているが、本市ではどのような対策をしているのか。また、県内3市において実施されている小中学校の土曜授業^{トウヨウ}について、本市での実施予定と、保

護者向けアンケート調査を行う予定はあるのか。また、土曜学習^{トウヨウ}の実施予定と、これを小学校1年生からの英語教育に活用することはできないのか。また、小中学生のパソコン操作の習熟度を把握しているのか尋ねる。

A スクールセクハラについては、大村市立小中学校におけるハラスメント防止等に関する要綱を制定しており、学校等と連携して防止のために取り組みたい。また、土曜授業については、保護者向けの調査は実施しておらず、他市の状況等や本市の実態等に照らして実施するのか判断したい。また、土曜学習については、実施したい地域があれば、積極的に支援し、英語教育については、土曜授業での実施を検討したい。また、小中学生のパソコン操作については、子ども^{トウヨウ}の習熟度に合わせ授業に取り入れている。



注9：教育課程内の通常の授業を土曜日に行うもの
注10：地域、保護者等と連携して、希望する児童生徒に対して土曜日における充実した学習機会を提供する多様な活動を行うもの